

(様式3)

平成28年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	伊勢市福祉健康センター	所在地	伊勢市八日市場町13-1
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日
設置目的	市民の福祉、健康、世代交流・地域交流等の活動の拠点施設として、社会福祉活動の輪を広げるため		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の雇用に関する事 ・運営管理に関する事(管理責任者業務、庶務業務、貸館業務 等) ・事業に関する事(伊勢市身体障害者福祉センター事業、伊勢市老人福祉センター事業 等) ・施設及び設備の維持管理に関する事(設備の保守点検及び管理業務、施設清掃業務 等) ・その他業務に関する事(危機管理業務、個人情報保護、守秘義務、情報公開 等) 		
施設概要	<p>本棟 昭和63年3月完成(開館は昭和63年4月)、別棟 平成元年12月完成 敷地面積6,015㎡(駐車場、緑地等含む)、建築面積(延床面積)4617.01㎡(本棟4407.58㎡、別棟209.43㎡) 本棟 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て、別棟 鉄筋コンクリート造2階建て</p> <p>本棟 1階(1718.75㎡) 総合事務室、相談室、ボランティア室、社会適応訓練室、日常生活訓練室、調理実習室、伊勢市ひまわり、和室 等 2階(1608.20㎡) 娯楽室、集会室 等 3階(940.63㎡) 遊戯室、工作室、事務室、集会室、図書コーナー、会議室、資材室 等 4階(140.00㎡) 倉庫、電気室 等</p> <p>別棟 1階(101.63㎡) 市直営休日・夜間応急診療所 2階(107.80㎡) 伊勢市歯科医師会使用</p>		
職員体制	館長 1名 館管理職員 常勤 2名、非常勤 3名		
施設所管課名	福祉総務課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	比較(C-B)
事業収入	指定管理料	29,323,542	29,326,629	36,223,000	6,896,371
	利用料金	148,870	171,430	568,690	397,260
	その他	4,898,260	3,526,742	1,477,356	△ 2,049,386
	計(a)	34,370,672	33,024,801	38,269,046	5,244,245
	人件費	4,494,846	4,701,952	10,905,899	6,203,947
事業支出	管理運営費	26,467,393	25,810,315	25,581,251	△ 229,064
	その他	1,026,000	1,039,000	2,153,704	1,114,704
	計(b)	31,988,239	31,551,267	38,640,854	7,089,587
収支差引額(a)-(b)		2,382,433	1,473,534	△ 371,808	△ 1,845,342

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	貸館利用が増加した。 配置基準変更のため、人件費が増加した。 デマンドの導入により光熱水費が削減できた。5年契約にすることで保守料を削減することができた。
----------------------------------	---

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
<p>施設の設置目的、設備の維持管理に努め、利用者増加を目指し努力した。身障センター、老人センターとも利用者は増加したが、全体的な利用者は前年度比較で5,722人減少した。</p> <p>全体的な、利用の減少については、中央保健センターが前年度比較で9,667人の利用者減少が、目立った。</p> <p>今後もアンケート等を実施し、利用者のニーズにあった事業やサービスの提供による利用者の増加に努めたい。</p>	<p>施設の維持管理については適正に行われていたと認められる。</p> <p>施設の設置目的が市民の福祉、健康、世代交流、地域交流等の拠点として、社会福祉活動の輪を広げるためであることを理解したうえで、利用者減少の原因を究明し、利用者増につなげる取組をされたい。</p>

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価					
		指定管理者		市			
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由		
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を理解し運営に努めた。	A	施設の設置目的に基づいた事業計画書が作成されており、設置目的を理解し日々の業務が遂行されていた。		
	②施設設置目的の達成度	A	障がい者、高齢者、児童等を対象とした施設の目標達成に努めた。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成されたと思われる。		
	③利用者数	B	年間利用者数は、平成27年度の216,363人に対し、平成28年度は210,641人ととどまり5,722人の減少となった。	B	前年度と比較するとわずかに減少している(対前年度比97.35%)ため、利用者数増のため工夫する必要がある。		
	④運営状況	A	施設の供用日数・供用時間を守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書の計画に沿って運営されたことが認められた。		
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	職員構成、人員配置、指揮命令系統の届出があり、業務執行体制は明確になっていた。		
	⑥意思疎通	A	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	管理運営業務全般において、伊勢市との協議や連絡調整を行いながら管理運営をした。	A	月例の報告はもとより、突発的な協議事項についても、連絡調整は十分取れていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	点検記録、修繕記録等、各種管理記録の整理保管を行った。	A	各種記録について適正に整備、保管されていた。
	⑧地域の振興	A	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図られていたか。	A	ボランティアまつりの開催支援や、福祉健康センターフェスティバルを実施し地域住民との交流を図った。	A	地域住民との連携・交流を図る取組が実施されていた。
	⑨使用許可等	A	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用申請の提出を施し、適正に受付を行い使用の許可をした。	A	使用許可申請に係る事務は適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	利用料の帳簿等を作成し徴収、還付等を適正に行った。	A	帳簿等は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	A	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	棚、引出し等に施錠し個人情報の保管に留意した。	A	個人情報の取扱いは適正に行われていた。
	⑫法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	法令を理解し遵守した。	A	法令を遵守した管理運営がなされていた。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	身体障害者デイサービス、高齢者教室の開催については、要望に対応したり内容を工夫するよう心がけた。福祉健康センターフェスティバル等も開催し、利用者増員に努めた。	B	利用者増に向けた取組みは見受けられたが、結果として前年度の利用者数を割り込んでしまった。
	②利用者の平等な利用	A	ミーティング等を行い、職員間での情報を共有し利用者への平等なサービス提供に取り組んだ。	A	サービス水準を確保するための取組みが行われていた。
	③適切な情報提供	A	社協だよりに各教室の募集記事を掲載した。福祉健康センターだよりを発行し公共機関等への配布を行ったり、ホームページ等での情報提供を行なった。	B	概ね適切な利用情報の提供が行われていたが、社協独自の広報誌の発行など、さらに努力されたい。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルを作成し、年2回避難訓練を実施した。また職員全員が、AEDの講習を受講し非常時・緊急時の対応に備えた。	A	緊急時のマニュアル整備、訓練を実施し、事故発生時、緊急時を想定した対応を行った。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	意見・苦情等については適切な対応がされていた。
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	アンケートによる利用者のニーズ調査を行い、自主事業に反映させていた。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に反省会等を実施し、問題点を話し合い、次年度につなげる努力をした。	A	話し合いによる新たな課題の抽出ができており、次年度に向けた取組みがなされていた。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	設備の定期点検、建物の安全点検を行い記録し、安全の確保を心掛けた。植栽管理し美観の保持を心掛けた。	A	定期的な点検、建物の安全確認及び記録が行われている。また安全性の確保、美観の保持にも努められている。
	②備品等の管理	A	定期的な点検を行い丁寧に扱うことを心掛け保守管理を行った。	A	管理・点検・保守は適切に行われていた。
	③修繕業務	A	場所によっては迅速に対応し、異常があった場合は確認・記録をとり伊勢市に報告し速やかに修繕を行った。	A	適切な応急処置がなされており、市への報告も迅速に行われていた。
	④清掃業務	A	事前に計画を立てて、予定通り点検、測定、清掃を行った。	A	清掃は適切に行われていた。
	⑤防犯体制	A	鍵は所定の場所に保管し、貸出簿の記入を行った。最終退館者が退館簿に記入をすることを徹底した。夜間は業者に委託し防犯対策をした。	A	鍵の管理は適正に行われていた。

〈各項目ごとの判定〉

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。